

平成22年度 王寺町消防団本部役員研修会 報告書

- 1 日 時：平成22年7月31日（金）9:00～13:00
- 2 場 所：王寺町やわらぎ会館3F小会議室
- 3 主 催：王寺町消防団
- 4 出席者：消防団団長以下11名、役場総務課（事務局）3名、
- 5 講 師：西大和6自治会連絡会（上牧町）
神戸防災技術者の会（元神戸市職員）、NPOメンバー
神戸市水道局総務課調整係長
- 陪 席：奈良県安全安心まちづくり推進課
NPO法人都市災害に備える技術者の会

6 研修内容

(1) 第一部 【自主防災組織と消防団との連携】（9:10～10:00）

講師：西大和6自治会連絡会（上牧町）

・講演概要

- ① 西大和6自治会の紹介
- ② 桜ヶ丘2丁目 子どもサバイバル
キャンプの紹介
- ③ 2010年「防災教育チャレンジプラン」
の参加報告
- ④ 自主防災組織と消防団について



質疑応答の様子

・質疑応答

- Q-1 奈良県下で自主防災組織が積極的に活動しているのはどのくらいあるか？
A-1 9組織ある。
- Q-2 行政を巻き込んだ活動で苦労した点は？
A-2 気楽に気が合うもので進めている。
- Q-3 防災倉庫の資機材購入費用の補助は？
A-3 15万円/年あり、それで徐々に充実している。
- Q-4 マンネリ防止、継続することの重要性が解った。全国活動はしているか？
A-4 「全国防災まちづくりフォーラム」などを通して京都市、さいたま市、神戸市、大阪市（インテックス大阪）、奈良市、泉南市、安城市などで活動紹介をした。自然にネットワークが出来てきている。
- Q-5 消防団は昼間勤務先にいるが、どのように対応すれば良いか？
A-5 出来ることをやればよい。

(2) 第二部 【災害対応カードゲーム：クロスロード】(10:10～11:50)

講師：神戸防災技術者の会（元神戸市職員）、NPOメンバー
神戸市水道局総務課調整係長

出席者全員を1組7名の2班に分け、出題と解説を受けながら進めていった。

設問は次の6題であった。

設問 1 あなたは・・・家族と同居している。

未曾有の大地震により、まちのあちこちで火災発生。市外から消防車が続々駆けつけている。気がつくと隣家でも火災発生、我が家にも燃え移りつつある。

そこに消防車のサイレンの音が近づいている。

消火のために消防車を止める？ Yes/NO

設問 2 あなたは・・・要援護者の近所の人

河川増水により地区に避難勧告が出た。2階建てに一人で住む本人は「面倒だし、このくらいの雨はいつものこと」と言っている。避難所で多くの人とうまくやっていけるかも心配。そのうち夜になった。一緒に避難する？ Yes/NO

設問 3 あなたは・・・被災した病院の職員

入院患者を他病院へ移送中。ストレッチャー上の患者さんを報道カメラマンが撮ろうとする。腹にすえかねる。そのまま撮影させる？ Yes/NO

設問 4 あなたは・・・避難所担当の職員または地域の役員

現在、避難所となった体育館にいる。館内では毛布が不足気味。折りよく取材にきたTVニュースの番組クルー。

TVを通じて毛布提供を呼びかける？ Yes/NO

設問 5 あなたは・・・母親

半壊状態の我が家を出て避難所暮らし。余震は続いている。ところが、風邪が大流行。幼い我が子に風邪がうつるのではと心配。

我が家に戻る？ Yes/NO

設問 6 あなたは・・・要援護者の家族



クロスロードゲームに取り組んでいる

大地震から1ヶ月経過。仮設住宅に入れることになったが、住んでいたところから随分離れている。

仮設住宅に入る？ Yes/NO

(3) 第三部 情報交換会

昼食時に出席各人が任意に情報交換を行った。

(以上)